

# 北海道科学大学ゼロカーボンキャンパス宣言

本法人は、北海道に自動車がない1924年に「自動車運転技能教授所」として開学したのを皮切りに、短大、専門学校、高校、大学を開学し、常に社会の変化・要望に応える学校法人として、様々な対応を行ってきました。

近年、国内外では大型台風や記録的な豪雨・猛暑など異常気象が深刻化しています。こうした状況は、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの影響によるものと考えます。

本法人はこれらを踏まえ2004年度から大学が主体となり「環境マネジメント推進委員会」を立ち上げ、学生による省エネパトロールや風力・太陽光・地中熱・積雪を利用した様々な取り組みを行ってきました。また、2022年10月に竣工した北海道科学大学高等学校の新校舎は「ZEB ready」を取得し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを強化しています。

本法人は経営理念に「新しい価値を創造する実学系教育を通じ、地域社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く、北海道の発展に寄与する人材を育成する。」と謳っております。

このたび、地域社会からの期待に応えるべく、日本政府、北海道、札幌市のカーボンニュートラル宣言に賛同し、学校法人北海道科学大学は2050年までに実質ゼロカーボンキャンパスを目指すことといたしました。

ここに、「北海道科学大学ゼロカーボンキャンパスの実現を目指す」ことを宣言いたします。

以上のことから本法人では、持続可能な社会の実現のために貢献し、ゼロカーボンキャンパスの推進に向けて、以下のとおり「ハートプロジェクト」（意識の改革）、「ハードプロジェクト」（設備の改革）の取り組みを進めていきます。

## ハートプロジェクト

個々の意識改革のため、SDGs関連授業の実施やエネルギーの見える化、節電活動の推進を積極的に行い、学生・生徒・教職員が力を合わせ取り組みます。

## ハードプロジェクト

キャンパスの施設改革として、クリーンエネルギーへの転換や太陽光パネルの活用、新エネルギーや新技術の導入を積極的に行い、ゼロカーボンキャンパスを目指します。

2023年10月3日  
学校法人北海道科学大学  
理事長 苫米地 司